

使徒信条

わたしは、天地の造り主、全能の父なる神を信じます。

わたしは、そのひとり子、わたしたちの主、イエス・キリストを信じます。主は聖霊によってやどり、処女マリアから生まれ、ポンティオ・ピラトのもとで苦しみを受け、十字架につけられ、死んで葬られ、陰府にくだり、三日目に死者のうちから復活し、天に昇って、全能の父なる神の右に座しておられます。そこから来て、生きている者と死んでいる者とを審かれます。

わたしは、聖霊を信じます。聖なる公同教会、聖徒の交わり、罪の赦し、からだの復活、永遠のいのちを信じます。アーメン

主の祈り

天にまします我らの父よ、願わくは御名をあげさせたまえ。

御国をきたらせたまえ。

御心の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

我らの日用の糧をきょうも与えたまえ。

我らに罪を犯す者を、我らが赦すごとく、

我らの罪をも赦したまえ。

我らを試みにあわせず、悪より救い出されたまえ。

国とちからと栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

初めて礼拝に参加なさる方への御案内

- ・教会の礼拝は、信者だけのものではありません。どなたでも、いつでも参加できます。
- ・礼拝は、「見えない神と対面するとき」です。砕かれた自分を携えて礼拝に臨みましょう。
- ・礼拝では、イエス・キリストを証言する聖書を読み、その聖書を説き明かす説教が行なわれます。イエス・キリストの御言葉と生きる姿を通して、私たち自身の生きる道を尋ねましょう。
- ・礼拝では、讃美歌を歌い、祈ります。これらは神への信頼を表し、また神の恵みに応えて感謝を捧げるものです。
- ・礼拝では、自分自身をささげて神に従う献身のしるしとして、献金を捧げます。今は、献身のしるしとして捧げる事は難しいと感じる方が、神への感謝のしるしとして捧げることもまた礼拝に相応しいことです。人の目や金額の大小を思わず、心そのままにお捧げ下さることは、神と人ともに仕えて生きる新しい歩みの第一歩となるはずです。



←礼拝ライブはフェイスブックから

週報はホームページにも掲載→



礼 拝 毎日曜午前10:10より
日曜学校 毎日曜午前9:30より
祈り会 毎水曜午前10:30より
午後6:30より(今週は6:00より)
*キリスト教Q&A, 教会の歴史講座など随時
*牧師との面談を希望される方はご連絡下さい。



週 報

2025. 1. 5

その間に、弟子たちが「ラビ、食事をどうぞ」と勧めると、イエスは、「わたしにはあなたがたの知らない食べ物がある」と言われた。弟子たちは、「だれかが食べ物を持って来たののだろうか」と互いに言った。イエスは言われた。「わたしの食べ物とは、わたしをお遣わしになった方の御心を行い、その業を成し遂げることである。

(ヨハネ福音書4:31~34)

日本キリスト教会

札幌豊平教会

送金には、郵便局から振替口座のご利用を。振替：02790-7-9082
口座名義：日本キリスト教会札幌豊平教会

〒062-0906 札幌市豊平区豊平6条3丁目5-15

電話 090-8863-7316

新メール contactch@ccj-toyohira.church

新HP <https://ccj-toyohira.church>



2025年1月5日
降誕後第2主日礼拝

No. 1

司式 長老大和田真理子

奏 楽 新井かおり

招きの言葉：ヨハネ15：26～27

■わたしが父のもとからあなたがたに遣わそうとしている弁護者、すなわち、父のもとから出る真理の霊が来るとき、その方がわたしについて証しをなさるはずである。あなたがたも、初めからわたしと一緒にいたのだから、証しをするのである。

讃美歌 21-10

悔い改めの言葉：ヨハネ14：10～12

■わたしの内におられる父が、その業を行っておられるのである。わたしが父の内におり、父がわたしの内におられると、わたしが言うのを信じなさい。もしそれを信じないなら、業そのものによって信じなさい。

讃美歌 21-26

聖書 ローマ4：18～22 (新p279)

祈り

讃美歌 21-58

説教 「見えない約束への信頼」 牧師稲生義裕

讃美歌 21-268

聖餐

讃美歌 21-78

信仰告白 使徒信条(週報裏面)

献金

主の祈 (裏面に)

頌 栄 21-24

祝 禱

アーメン三唱

後 奏 (聴いた御言葉と派遣されて行く者としての理想を覚えて、各自黙禱を)

きょうの聖書

18 彼は希望するすべもなかったときに、なおも望みを抱いて、信じ、「あなたの子孫はこのようになる」と言われていたとおりに、多くの民の父となりました。

19 そのころ彼は、およそ百歳になっていて、既に自分の体が衰えており、そして妻サラの体も子を宿せないと知りながらも、その信仰が弱まりはしませんでした。

20 彼は不信仰に陥って神の約束を疑うようなことはなく、むしろ信仰によって強められ、神を賛美しました。

21 神は約束したことを実現させる力も、お持ちの方だと、確信していたのです。

22 だからまた、それが彼の義と認められたわけです。

—2024年2月4日総会にて決議—
《2023年度主題》『他者のために、地域と共に』
聖書 申命記6:4～5/使徒言行録2:43～47

礼拝後 高校生以上の集い 聖書素読の会
1月定期小会

今週の集会

- ・ 8日(水)10:00 ご近所との健康作り
10:30 祈り会 I /18:00 II (LINEでの参加可能)
- ・ 9日(木) 9:30～/11:00～ガンバルーン体操教室
10:00～弁当の仕込み(10:30 移動スーパー駐車場に來訪)
- ・ 10日(金)12:30 とよひら食堂弁当手渡し (12:00 札幌バプテスト・12:30 豊平教会・ディバイディにて手渡し、12:10 路上での手渡し)

牧師の予定

- ・ 6日(月)9:00 神愛園礼拝奉仕

次主日の予告 (2025年1月12日)

礼 拝 降誕後第3主日 (ライブ配信)

聖書 ローマ4：23～25 (新p279)

説教 「神へ赦しへの信頼」

讃美歌 21-3, 28, 58, 476, 27

司式：長老秋葉聡志 奏楽：川名祐紀子

礼拝後 高校生以上の集い

報告

- ・ 29日(日)礼拝出席15, 子ども0, 幼児0,
礼拝献金 ¥42,647 高校生以上の集い:3
- ・ 30日(月)朝ごはん弁当 :100食 [教会前68 大通22, 配達2, ボラ7名(8食)] ・ 1日(水)祈り会:休
- ・ 3日(金)とよひら食堂 270(教会 85, 札バプ 105, 大通 21, 薄野デイバイデイ 34, 配達 2, ボラ 11(23))。

お知らせ

あけましておめでとうございます。神に与えられた新しい年は、誰にとっても特別な年、恵みの年です。この一年を、神への信頼と感謝のもとに、それぞれの歩みを為して参りましょう。

また、札幌豊平教会としての歩みが、聖霊の導きのもとに、常に主の御心を生きることができるよう、み言葉に聴き悔い改めを繰り返しながら、歩んで参りましょう。

小会では只今、大会より中会に委託された「創立75周年信仰の宣言」の検討を行っています。大会が創立75周年に発表すべく企図し、検討期間が長引いている信仰の宣言文です。戦後80年目の今秋に出来上がるのか。日本キリスト教会が、過去の戦争責任を正視して悔い改め、今日戦“後”責任を担う教会として、再出発できるかどうか。組織制度上の脆弱化が極まるこの時期において、教会は何によって建ち、神に用いられるのか。日本キリスト教会自体が、教会の本質に触れた自己認識と自己評価を表わす機会となる事を切に求めます。日本キリスト教会が、新しく変われるラストチャンスが、この時であるようにも思われます。